



# 平和の尊さを語り継ごう



時が経つにつれ、戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを体験した世代の人が少なくなっています。播磨町では昭和57年に「核兵器廃絶のまち宣言」を行い、次世代に平和の尊さを伝えるための取り組みを行っています。

▶問合せ 企画グループ ☎079(435)0356

7月30日(金)に平和祈念講話会、7月31日(土)に平和映画会、そして、8月11日(水)から22日(日)に平和展を開催しました。

## 平和祈念講話会

7月30日(金)、中央公民館で平和祈念講話会が開催されました。今年も町内中学1年生と住民の方約400人が参加し、加古川市在住の作家西村恭子さんの講話に耳を傾けました。最初に映画「ヒロシマ・母

たちの祈り」を鑑賞し、西村さんからは、「透き通った本当の食べ物のはなし」二つの国の人形たちからのメッセージ」と題した、播磨町にもゆかりのある人形メリーちゃんにまつわる物語を聞きました。「透き通った食べ物」心の食べ物大切に、感性を豊かにし、平和な未来を担ってほしい

い」と訴えられました。平和映画会

7月31日(土)、原子爆弾により一瞬にして廃墟となったヒロシマでたくましく生き抜く少年ゲンの姿を描いた長編アニメ「はだしのゲン」を上映しました。

## 平和展

8月11日(水)から22日(日)に、広島・長崎の原爆についての写真やポスターなど、広島平



▶戦前、日米友好の証としてアメリカから贈られた人形メリーちゃん。西村恭子さん(左)と藤原教育長(右)

和記念資料館からお借りした貴重な資料を展示しました。

町では、今年も8月8日(日)から10日(火)に長崎へ「播磨町平和特使」を派遣し、全国から集まった中学生たちが平和についての宣言を行う「ピースフォーラム」と「被爆65周年長崎原爆平和祈念式典」へ出席しました。

## 「青少年ピースフォーラム」

播磨中学校2年 川本凜



僕たちは播磨町の平和特使として、長崎県で行われる平

和学習に参加しました。平和学習には日本全国の学生が集まり、平和について話し合いました。8月9日は被爆65周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参列しました。式典に向かう途中、水を求めていた被爆者たちの思いが込められた石碑に必死に水をかける人を見ました。僕は悲しくなりました。長崎には記念館や



播磨中学校2年 小黒優志

僕たちはこの夏、平和と向

き合う良い経験をしました。それは、長崎のピースフォーラムに参加したことです。

ピースフォーラムでは、被爆した永野悦子さんのお話を聞かせてもらいました。その中で「もう二度と戦争はしてはいけない」という強い怒りを感じました。僕は、話を聞いて戦争の恐ろしさを感じてきました。その後、班で平和について話し合いました。様々な人たちの意見を聞き、考え方をすることが出来て、とてもプラスになりました。

## 「青少年ピースフォーラムに参加して」

播磨南中学校3年 京保貴志



僕は、青少年ピースフォーラムというのに参加して、他校の中学生と平和について勉強してきました。永野悦子さんの話は、実際にあった事を話してくれたのでとても集中して聞けました。後、こういった話は初めてだったので、すごくためになりました。

平和式典では、平和を象徴とした建物もたくさんありました。式典にはテレビ局の人や、ご遺族の方たち、外国からも来ていてたくさんの方がいて驚きました。式典は約1時間で途中に黙とうがありました。黙とうは1分間と短い間でしたが、僕にはなぜかすごく長いような気がしました。

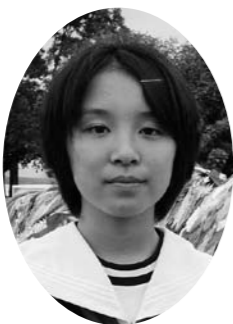
長崎のピースフォーラムに参加して原爆の恐ろしさや、皆の平和への気持ちを伝えることが出来ました。これから、世界の国々が積極的にこのような行事を行って、「もう二度と戦争をおこしてはいけない」と

もう、こういう体験はできないと思うので良かったです。長崎に行つて感じたことは、この原爆でこんなにも被害がでるのかと思いました。兵庫から長崎まで遠いのであまり実感がないけれど、実際長崎に来て数々の原爆による痛々しい物などを見たから、本当に原爆というものは恐ろしいと感じました。だからこの恐ろしさを周りの人たちに伝えて、少しでも核廃絶に向かつて自分も努力していきたいです。

この原爆でこんなにも被害がでるのかと思いました。兵庫から長崎まで遠いのであまり実感がないけれど、実際長崎に来て数々の原爆による痛々しい物などを見たから、本当に原爆というものは恐ろしいと感じました。だからこの恐ろしさを周りの人たちに伝えて、少しでも核廃絶に向かつて自分も努力していきたいです。

## 「長崎にて」

播磨南中学校3年 田中千裕



青少年ピースフォーラムで平和学習や被爆した永野悦子さんの体験講話を聴きました。永野さんは原爆で弟妹を亡くされました。その後の生活から、残された家族も原爆の被害者なのだとわかりました。そんな永野さんたちのような

この青少年ピースフォーラムに参加して、先生や祖母に戦争や原爆のことについてよく聞くようになりました。平和について考えるためには、まずみんなが歴史を知ることが必要だと思いました。今後は、身近な友人や人と話し合い、今回のように平和について学べる機会があれば積極的に参加したいと思っています。